



税理士の魅力を紹介した神津信一氏=右=と中里実氏(高知市追手筋2丁目)

## 税や税理士の仕事知って

前政府税調会長ら講義

高知市

税金や税理士の仕事に理解を深めてもらおうと、日本税理士会連合会が19日、高知市の土佐女子高校と追手前高校で特別講義を行った。

2024年から全国各地

の学校で行っており、四国では初めて。同連合会名誉会長の神津信一氏(76)、前政府税制調査会会長の中里実氏(71)ら4人が講演し、追手前高では2年生約100人が耳を傾けた。

課税逃れを防ぐ研究をしてきた中里氏は、中国の唐の時代の塩に対する重税や日本の三世一身法を例に「苛烈な税金を課すと国が滅びたり、治安が維持できず荒れたりする」と税の重要性を説明。生徒の将来について「豊かさとは選択肢が多いこと。自分の向き不向きを考えて仕事につくために、情報を集めることが大切だ」と呼びかけた。

神津氏は「税理士は都会で外国法人の税務申告や企業の合併に携わることも、まちの店主の手伝いをすることもできる」と仕事の幅広さをアピール。今回の衆院解散後も消費税や年取マになる」と「税理士はその最前線で働いている」と話した。

(伊野部重昭)